



茜ヶ丘

舞鶴市立中舞鶴小学校
学校だより 12月号
令和2年11月30日発行



<http://nakamaizuru.maizuru.ed.jp/>

2学期のしめくくりです。

紅葉の秋も足早に過ぎ、茜ヶ丘に落ち葉が舞う寒い季節となりました。実りの2学期も残りわずかです。これまでの学習のまとめや、新たな年を迎える準備をする大切な時期を迎えています。

先日は、代表チームによる「舞鶴市小学生駅伝競走大会」への参加、生活科や総合的な学習の時間で取り組んだ内容を交流する「聞いて知りたい集会」、来年度に入学する児童を対象にした「就学時健康診断」などを実施しました。

本格的な冬の到来に備えて「マスクの着用」「3密の回避」「手洗い・消毒」などの基本的な感染症対策を徹底し、引き続き教育活動の充実に取り組んでまいります。



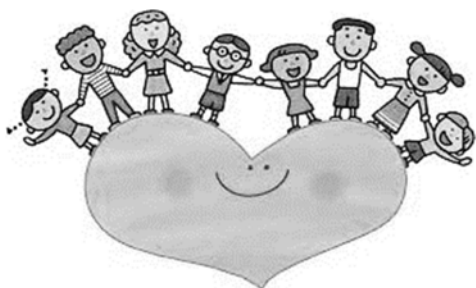
さて、12月は人権月間です。私たちが幸せに生きるための権利、世界中の誰もがもっている権利である「人権」について子どもたちが深く学ぶ大切な月です。

『ありがとう』をいっぱいになりたい」「支え合い、助け合いができるようにしたい」「笑顔を増やしたい」と各学級の子どもたちが話し合い、『ありがとうの木』を育てる』『挨拶チャレンジ』をする』『ちくちく言葉』を減らし、『ふわふわ言葉』を増やすなどのアイデアを出し合って取組を進めています。

教職員や保護者の方からも人権標語を募りました。『あのね先生』『はい、なあに』なんでも聞くよ うれしいことも 悲しいことも」「集まって ぼかぼか言葉で 暖まろう」「そのことば『やいば』になって いませんか」などの自筆の作品を図工室前廊下に掲示しています。

子どもたちが日頃の生活をふり返り、なにげなく使っている言葉や態度など、自分達の身近な課題について気付き、「人として大切な言葉かけやふるまい」「思いやりの気持ち」「命とからだの大切さ」などについて学ぶとともに、望ましい態度や実践力へとつなげることができるよう、あらゆる機会を通じて指導を行っています。

ご家庭におかれましても、「ぼかぼか言葉」や「思いやりの心」、「かけがえのない命」についてお話していただく機会をもっていただければと思います。また、お子様の様子で気になること、心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談いただきたいと思っています。子どもたちのよりよい成長のために一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



こと、心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談いただきたいと思っています。子どもたちのよりよい成長のために一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 藤原 佳弘
教職員 一同